

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	学外実習Ⅳ
科目基礎情報					
科目番号	2024-530		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	物質工学科		対象学年	5	
開設期	集中		週時間数		
教科書/教材	特になし				
担当教員	山根 説子				
到達目標					
(1) 就業体験を通して自己の職業適性や将来設計について考える。 (2) 学問の実際的な意義を認識する。 (3) 職場や地域社会で活躍する上で必要となる社会人としての意識や行動を身につける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	就業体験を通して自己の職業適性や将来設計について考え、より具体的に将来のことを考えることができる。事前レポート・履歴書(自己アピール・志望動機)にその旨記載されている。	就業体験を通して自己の職業適性や将来設計について考えることができる。そのために、事前レポート・履歴書(自己アピール・志望動機)を作成することができる。	就業体験を通して自己の職業適性や将来設計について考えることができない。事前レポート・履歴書(自己アピール・志望動機)を作成することができない。		
評価項目2	学問の実際的な意義を認識し、学習活動の重要性を再認識し、その意欲が見られる。事前レポート及び実習後レポートにその内容について記載がある。	学問の実際的な意義を認識することができる。事前レポート及び実習後レポートにその内容について記載がある。	学問の実際的な意義を認識することができない。事前レポートもしくは実習後レポートにその記述がない。		
評価項目3	職場や地域社会で活躍する上で必要となる社会人としての意識や行動を身につけ、実践しようとする姿勢が見られる。提出物のメ切を守り、実習に真摯に取り組むことができる。	職場や地域社会で活躍する上で必要となる社会人としての意識や行動を身につけることができる。提出物のメ切を守り、実習に取り組むことができる。	職場や地域社会で活躍する上で必要となる社会人としての意識や行動を身につけることができない。提出物のメ切を守ることができず、実習先であいさつや取り組み姿勢などに注意を受ける。		
学科の到達目標項目との関係					
【本校学習・教育目標(本科のみ)】 5					
教育方法等					
概要	企業や大学、研究機関等での実習を通じて、実習先の研究者等、先輩技術者から指導を受け、これまでに学んだ知識を活かして実際の現場での技術を修得する。また、学外実習の経験を今後の学習及び自身のキャリア育成に役立て、技術者としての意識を高揚させることを目的とする。授業で修得した知識や技術が実際の工場あるいは研究機関において、どのように利用・実用化されているか理解する。長期休暇中に2週間程度の実習を学外にて行う。実習後に報告書を提出するとともに、報告会にて実習内容および実習で学んだことなどを発表する。				
授業の進め方・方法	夏季休業中に実習を行うために、4~5月中旬に実習に参加するかどうかの意思決定をし、希望先企業等を決め、履歴書およびエントリーシートの準備を行う。授業担当者から適宜添削を受け、企業等の定める申込期限までに学生課を通じて書類を提出する。夏季休業前までに、事前学習レポートを作成・提出し、実習直前ガイダンスを受ける。実習中は、実習日誌を書き、最終日に実習証明書を交付してもらう。実習終了後、速やかに実習報告書をまとめ、提出する。9~10月にある学科内報告会で実習内容や学んだことなどを発表する。				
注意点	評価については、評価割合に従って行います。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション・学外実習説明会	実習に対する心構えや実習の主旨を理解できる。	
		2週	過去の受け入れ企業	株式会社ヤクルト本社	
		3週		アステラス ファーマテック株式会社	
		4週		株式会社資生堂	
		5週		森永乳業株式会社	
		6週		東レ株式会社	
		7週		Meiji Seika ファルマ株式会社	
		8週		第一三共プロファーマ株式会社	
	2ndQ	9週		北里第一三共ワクチン株式会社	
		10週		ダイキン工業株式会社	
		11週		三菱アルミニウム株式会社	
		12週		サントリー株式会社(現 サントリーホールディングス株式会社)	
		13週		東洋インキ株式会社(現 東洋インキSCホールディングス株式会社)	
		14週		花王株式会社	
		15週		株式会社日本触媒	
		16週	学外実習報告会 授業アンケート	実習目的、実習内容、実習で学んだことを報告することができる。	
後期	3rdQ	1週			
		2週			

		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
		4thQ	9週		
			10週		
	11週				
	12週				
	13週				
	14週				
	15週				
	16週				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	提出課題	報告書	実習報告発表	自己評価	合計
総合評価割合	10	50	30	10	100
履歴書・エントリーシート	10	0	0	0	10
事前学習レポート	0	10	0	0	10
学外実習実施報告書	0	40	0	0	40
学外実習報告会	0	0	30	5	35
実習中の目標達成	0	0	0	5	5